

編集委員会から

J-STAGE を利用した論文の早期公開と DOI

2022 年発行の日本食品工学会誌第 23 巻（第 1 号～第 4 号）には 15 報の査読付き論文を掲載させていただくことができました。ご存じとは思いますが、学会誌発行後、J-STAGE (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsfe/-char/ja/>) に論文の書誌事項（題名、著者名、抄録など）と PDF ファイルを公開しています。日本食品工学会誌はオープンアクセス雑誌ですので学会員以外の方も自由に PDF ファイルをダウンロードして閲覧していただくことが可能となっています（学会員の方には論文掲載料の割引や年次大会の登壇資格、大会や講習会の参加費割引などのメリットがあります）。オープンアクセス化は多くの研究者に学術情報を提供するための世界的な流れです。

日本食品工学会誌は 3 月、6 月、9 月、および 12 月に発行していますので、掲載されているのは発行月の 3 か月前から前月までにゲラの著者校正まで完了した論文が中心です（一部前後があります）。そこで、速報性を高めるために著者校正が完了した論文は J-STAGE を利用した早期公開に努めています。第 23 巻では 7 報の論文を早期公開させていただきました。

早期公開の論文に付けられる DOI は学会誌発行後に掲載される論文の DOI と同じです。そのため、早期公開論文を引用される場合、“in press (<https://doi.org/10.11301/jsfe.MMMMM>)”（2017 年以降の論文では“MMMMM”は原稿番号の数字の部分）と記入していただければ、掲載号の発行前には早期公開の PDF ファイルへ、発行後には学会誌掲載と同じ PDF ファイルへ（J-STAGE の書誌事項を経由して）アクセス可能になります。早期公開版の PDF ファイルと学会誌発行後の PDF ファイルは、第 1 ページのヘッダー（早期公開版は Advance Published Date を表示）と各ページ番号（早期公開版では 1 ページから始まりますが、学会誌発行後にダウンロードできる PDF ファイルでは学会誌掲載版と同じページ番号です）が異なるだけです。

DOI は Digital Object Identifier の頭文字であり、様々なデジタルコンテンツに登録される、永続的な識別子（Persistent Identifier, PID）の 1 種で、ISO により国際的に標準化された規格（ISO26324:2012）です（https://japanlinkcenter.org/top/about/about_doi.html）。日本では Japan Link Center (JaLC) が DOI 財団（<https://www.doi.org/index.html>）から認定を受けて DOI の登録を行っています（<https://japanlinkcenter.org/top/>）。上記の例では DOI は「10.11301/jsfe.MMMMM」であり、「10.11301」は学術雑誌発行機関に固有のプレフィックス、「jsfe.MMMMM」は個々のデジタルコンテンツ（論文ファイルなど）を特定するサフィックスとなります。

早期公開を利用して日本食品工学会誌を活発な学術雑誌にしていきたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

（新潟大学 田中孝明）